

アークフラッシュ施工された老人施設 6年間インフルエンザの発症が報告されておりません

< * > <http://www.arc-flash.co.jp> **新着施工写真を更新いたしました**

<< 予防の思考 >>

車を運転していて事故に会ってから事故に会わないように思考するのか？事故を事前に予測して会わないように思考するのは大きな違いがある。

病院内での院内感染は命に関わる問題である。しかし、現状は事故が起きてからしか対応していないのである。東京都庁の病院経営課の M 課長は、MRSA！！そんなものどこにでも有るんだよ！！抵抗力があれば大丈夫なんだから！！と声高々に叫んだ。

実に命を軽視する発言である。予算が無いんだ！！と又、叫んだ！！

ある都議会議員の紹介で担当部署に説明に行った時のやり取りである。

しかし、事故が起きてから取る対策にはもっとお金が掛かるのである。それはすなわち税金である。

とある老人介護施設では近年猛威を振るったノロウイルスの対策を講じていなかった為に実際に感染が確認されてからの対策には1千万弱の金銭が掛かったのに対して、対策をアークフラッシュでとっていた施設では、発生は皆無であった。その対策費は約500万程度であった事を考えても事前の予防がいかに効率良く、予算を節約できるかを物語っている。

アークフラッシュ本部では、予算不足に悩む老人介護施設に対して、リネンサプライのク供給の中に施工代金を分散させる方法で、施工代金の長期分散化を提案している。

<< インフルエンザ情報 >>

流行警報発令中のインフルエンザについて県健康増進課は16日、5日から11日(第10週)までの58定点医療機関の患者数が、前週より234人増の2138人とさらに増加したと発表した。

一定点当たりの患者数は36.86人と、前週の32.83人をさらに上回った。南部と中央の2保健所管内で特に多く、3週連続警報レベルを超えている。

学級閉鎖は3月上旬に中部地区2小学校で2学級、那覇地区中学校で1学級が閉鎖となり、今シーズンでは計8校の1学年10学級が閉鎖となっている。

同課は「今後、流行が続くことが予想される。うがい、手洗いをしっかり行い、感染予防に努めてほしい」と注意を呼び掛けている。

定点当たりの患者報告数が最も多い保健所管内は南部で63.18人。次いで中央が53人となり、2管内とも3週連続警報レベルを超えた。八重山を除く北部と中部、宮古の3保健所管内は注意報レベルとなっている。

<< 施工報告 >>

株式会社リケア施工



岡本邸

スタンレー電気の施工 ベロモンド



エコr - ディング施工



函館法華倶楽部



大分法華倶楽部



フジサンパレス

<<鳥インフルエンザ>>

インドネシア保健省当局者は20日、ジャワ島東部スラバヤで19日に死亡した女性(20)の高病原性鳥インフルエンザ(H5N1型)感染が確認され、同国の累計死者は66人となったと述べた。

女性は近所の家で飼っていた鶏の死体を片付けた後に発症しており、この鶏が感染源の可能性が大きいとみられる。インドネシアの累計死者は世界で最も多い

*** 発行責任者 株式会社アークフラッシュ本部**
笹川 透

03-5337-7275 FAX 5337-7465 sasagawa@arc-flash.com

1号～67号までを配信希望の方はメールにて申込ください。